

お釈迦様がお悟りを開かれた日にちなみ

大坐禅会のご案内

12月5日(土) 17:00~19:00
大智寺 本堂にて 要申込み

秋から冬への日々は早いもので、
肌をさすような冷たい風が、落ち葉を舞い上げると
冬のいづきが間近に迫っていることを感じさせられます。

ぬくぬくとしたお布団や、あったかいご飯が
何より嬉しい季節になりました。
皆様、お変わりありませんか？

お寺では、先月末に開山忌を無事に終え、ようやくほっとしているところです。

さて、来月8日はお釈迦様がお悟りを開かれた日です。

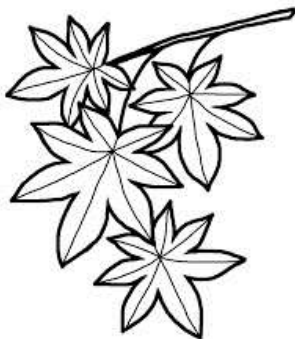
お釈迦様にまつわる大切な日は3つあり、

お釈迦様がお生まれになった日(降誕会) 4月8日

お釈迦様がお亡くなりになった日(涅槃会) 2月15日
この両日と並び大切にされるのが

12月8日(成道会)です。

仏教は、約2500年前(紀元前5世紀)の12月8日に
お釈迦様がお悟りを開かれたことで生まれました。



私達の信仰する臨済宗は、曹洞宗や黄檗宗とともに
「禅宗」と言われるとおり、
何よりも坐禅に重きを置いて修行します。

それは、お釈迦様がお悟りを開くために取り組んだ修行が
坐禅だったからに他なりません。

お釈迦様は「悟りを開くまでは決してここを動くまい」と
決意されて、12月1日から菩提樹の根元で坐禅を組み
7日間不眠不休で瞑想されたと伝えられています。

そして8日目、暁の明星を見て大悟されました。

私達禅宗は、このお釈迦様のお悟りと寸分違わぬ体験を
個々人が坐禅を通して目指すことを旨とします。

今でも禅宗の修行道場では、

12月1日から8日まで昼夜を問わずひたすら坐禅を組む
「臘八大摂心(ろうはつおおぜっしん)」という修行期間があり、
開けっ放した寒さの中、最も厳しい修行とされています。

このように仏教において特別なこの時期、
大智寺でも皆様と一緒に坐禅を組む機会を設けております。

坐禅を組んだことのない方、坐禅をしてみたい方、
坐禅が好きな方、

どんな方でもご参加いただけます。

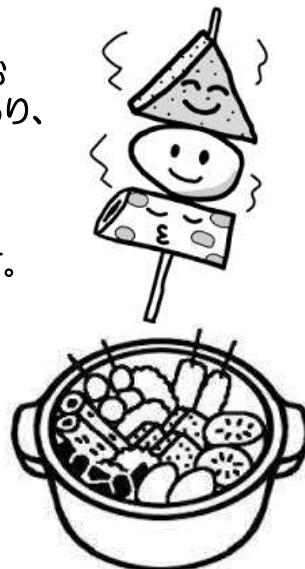
お電話にて、ご参加のお申込みをご一報ください。

坐禅の基本的なご説明は、当日させていただきます。

服装は、坐禅の組みやすい柔らかなズボンで

上着は温かいものが良いでしょう。

どうぞお気をつけてお出かけください。



大智寺だより

平成27年霜月

Vol.69

発行所

大智寺

岐阜市山県北野
668-1

電話:058-229-1532

《Mail》

hybsr245@ybb.ne.jp

《ホームページ》

大智寺

検索

<http://www.daichiji.com>

当紙は、大智寺本堂及び墓地
の水小屋にてご自由にお取り
いただけます。
又、当寺ホームページにて
過去すべての紙面をご覧いた
だけます。ご活用ください。

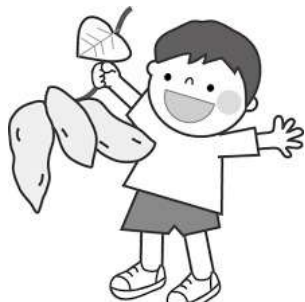
10月号発行部数
200部

ご愛読
ありがとうございます

紅葉シーズンを前に



11月中旬ごろになると、山の木々が美しく紅葉します。
モミジ狩りを楽しみにされている方も多いのではないのでしょうか。
お寺では紅葉シーズンを前に、各所メディアから取材を受けました。



中日岐阜ホームニュースの「ふれあいたいむず」様は、
毎月第三土曜日に中日新聞に折り込みをいれていらっしゃる、
この度初めて大智寺の取材にお越しになりました。
お寺の景色や花々、紅葉をご紹介くださるそうです。

また岐阜市咲楽様は、
岐阜市内に172,000部の雑誌を無料で戸別ポスティングされており、
11月号にて大智寺の紅葉をご紹介してくださいました。

岐阜市役所ではホームページ上にて、
どなたでもご利用いただける市内の画像を公開しており（デジタルアーカイブ）
10月13日に大智寺の景色を業者の方が撮影にいらっしゃいました。

メディアの方々のおかげで、多くの方に大智寺を知っていただく機会が増えてきました。
観光地ではありませんが、これからの季節 自然の織りなす山の錦を
お寺参りの方々と一緒に味わえば、と思います。

秋を探しに かわいいお客様

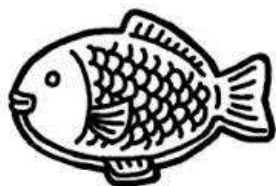
大智寺の近くには三輪北小学校という
ひとクラス10名いないほどの小さな小学校があります。

とてもどかでアットホームなこの学校の子ども達が
秋になるとお寺へきて、いろいろなことを学んでいきます。

10月9日には低学年の子ども達がどんぐりなど集める「秋みつけ」にお越しになり、
10月23日には高学年の子ども達が住職からお寺の歴史を聞きにお越しになりました。
また、学校の授業で育てたサツマイモの収穫祭のため、お寺の山の薪拾いも恒例です。

一人ひとり、将来この地域を担っていくかわいいお客様です。
楽しみながらお寺に親しんでいただければ、嬉しいかぎりです。

～ 他家の法要に出る機会の少ない奥様のため 若い世代のために ～
(実際にお寺にご相談いただいたものから抜粋)



お寺のこと、仏壇のこと、法要のこと etc
わからないこと 質問帳 ⑱



「お墓の精抜き精入れ 墓石と墓誌」

ご家族が亡くなると、だいたい四十九日法要にてご遺骨をお墓に納骨します。
そのため、納骨を予定される日までにお墓の準備を整えておくこととなります。
お墓を新しく建立する場合は、石材屋さんにご依頼しておけば準備が整いますが、
先祖代々のお墓がすでにある場合は、どうしたらいいのでしょうか。

墓石そのものに故人の名前・命日・享年が彫ってある場合は、
新たに亡くなられた方のことも彫る必要があるため、和尚様が墓石精抜きの読経をし
墓石そのものを石材屋さんを持って帰ってもらい、彫り加えをご依頼します。

けれど、墓石とは別に墓誌があり、その墓誌に故人の名前・命日・享年が彫ってある場合は、
墓石ではありませんので、精抜きの読経は必要ありません。
そのまま墓誌の彫り加えを石材屋さんにご依頼します。

～ 日常を豊かに『発菩提心空拳章（通称：菩提和讃）』 ～



お経のやさしい和訳（和讃）から
毎日の生活を 心豊かに

大智寺檀信徒日課經典
31 ページより

⑬

「^{いふくかたく}衣服家宅に至るまで ^{いた}遠き覚悟のありながら」

さて、今年も紅葉を楽しむ季節がやってきました。
四季折々、日一日としてとどまることなく移ろいゆくことを感じさせられます。
豊かな大自然を通して、古来より日本人は「無常」と向き合ってきました。

茶の湯の大家 千利休の孫にあたる宗旦（そうたん）は、茶室の名をつけてもらおうと
京都紫野 大徳寺の清巖和尚を茶室に招きました。

けれど当日急用ができてしまい、宗旦は不在を詫げる手紙を残して外出します。
留守中に大徳寺の和尚様がいらっしゃったのでしょ、帰宅すると置手紙が残されていました。
手紙には「懈怠（けたい）の比丘（びく）、明日を期せず」と一筆。
「なまけものの私には、明日という日はない」という内容です。
「明日がある、明日やればいい」という心を持たず、「今日、この瞬間」に生きる清巖和尚の心が伝わり
宗旦は、自ら茶室の名を「今日庵（こんにちあん）」としました。

「入学式用の服が必要」「将来のために喪服も用意しよう」「家の修理もしておこう」
遠い将来を想像し、私達はなるべく備えを盤石にしようと工夫します。

その一方で、どれだけ「今日、この瞬間」を生き切っているか、この一節は問いかけてきます。

今更のひまわり

「春と秋が感じにくい」と言われる昨今、
今年は久しぶりに秋らしい秋を満喫できたよ
うに思います。立冬を目前に「いい秋だった
なあ」と名残り惜しみつつ、冬支度に入るこ
の頃、皆様いかがお過ごしでしょうか。

さて、先月末には近隣寺院の和尚様方をお
迎えし、無事開山忌を営むことができました。
ここ数年、開山忌のお膳の一品に手作り胡麻
豆腐をお出ししており、今年も副住職と二人
で胡麻を炒るところから作りました。一度に
45人分の胡麻豆腐を作るので、出来上がりは
4リットル程を目指します。家族分であれば
割と簡単に小鍋で作れる胡麻豆腐ですが、量
が多くなると要領もかなり変わってきます。
毎年、火加減と練り具合と材料の比率の試行
錯誤が続きますが、なかなか納得できるお味
には近づきません。

胡麻は紀元前3千年頃には既に栽培されて
おり、葉や油になるため大変高価なものとし
て扱われてきました。アラビアンナイト「ア
リババと40人の盗賊」の中では「開け、こまー！
と呪文を唱えると宝物の隠された洞窟が開き
ます。これは、ぎっしり詰まった胡麻（宝物）
が、乾燥したサヤから「パツ」と勢いよく弾
ける様を表した呪文と言われています。

今月末には幼い家族が加わり、とても貴重
な毎日が「パツ」と始まることを想像すると、
大きく叫びたい「開け、こまー！」です（笑）

～ シリーズ 北野のおばあちゃんの味 ～

♪ 北野で丁寧に野菜を育てるおばあちゃんの味 おすそわけ ♪

コトコト冬支度 体の温まる 柚子のジャム

- ① 柚子1kgを丁寧に洗い、ヘタは取ってミカンのように手で皮をむく。
- ② 皮（白綿つき）を千切りにし、沸騰した湯で5分ゆでて湯をきり、
たっぷりの水にさらす。水は2～3回替えた上で、一晩水にさらしておく。
- ③ 翌日、柚子の果肉部分（種をしっかりと取り除く・薄皮つき）を細かく刻み、
水を切った千切りの皮と、砂糖500gと、水500CCを鍋に入れ、
だいたい1時間弱、中火で煮る。とろみがついたら、出来上がり。



このジャムを作ると、台所に最後に残るのは柚子のヘタと種だけ。ヨーグルトや
紅茶に入れたり、パンに塗ったり、冬中ずっと重宝するよ。

♪ 月に一度はお寺まいり ♪

初心者 大歓迎
東日本大震災物故者追善供養
毎月 第四日曜日
定例写経会

今月の日程

11月22日(日) 一回 500円
(朝8時~9時) (内300円は義援金)
要申込

10月写経会 備忘録

ぼちぼち白玉椿が咲き始めた、秋日和の日曜日
ひんやりとした朝の空気を感じつつ、背筋を伸ばして気持ちよく写経に取り組みました。今回は般若心経の「遠離一切顛倒」のお話。面白い猿の動物実験の例や、小学生のテストの例を挙げながら考えてみました。今回はお寺で採れた原木しいたけと柚子をお土産にしました。



大智寺の本尊様に見守られつつ、
故人の新たな一步を本堂からお見送りする
そんな一般葬を希望される方々へ



本堂を会場に営む 一般葬
あれこれ

1 ご家族が亡くなられたら

ご家族が病院で亡くされると、看護婦さんがご遺体の処置をしてくださり
手続きが終わると、故人を連れて帰宅の途につきます。
ご遺体を自家用車に乗せるのは、とても大変なのでたいてい葬儀社の寝台車を呼ぶこととなります。
そのため、どこの葬儀社にご依頼するかを目星をつけておくと慌てず対応ができます。

本堂を会場にお葬儀を考えられる場合、
故人が病院からご自宅に一度戻られて、枕経をご自宅で行うか
病院から直接お寺にいらっしゃり、枕経をお寺で行うか
ご遺族にお決めいただき、お寺にご一報いただくと
ご準備をしてお待ちすることができます。



お寺へご一報いただいた際には、

- ① 故人様のお名前 ② 故人様の生年月日 ③ ご命日
- ④ 喪主様のお名前 ⑤ 喪主の緊急連絡先 ⑥ 葬儀社名 等をお伺いいたします。

ご自宅で お寺で 市営斎場で 営む
家族葬

ご家族・ご親族のみの家族葬をお考えの場合、
ご自宅や市営斎場を会場に営むことができます。

また大智寺を会場にお使い頂くこともできますが、
その場合、指定の葬儀社をお寺でご案内致します。
必ず前もってご相談ください。

家族葬をご検討される場合は、
葬儀社のこと、葬儀会場のことなど含めて
まずはお寺までご相談ください。

完全個別永代供養墓

1区画：38万円～
(墓石代金含む)

「永代供養墓」とは、将来お墓を守りする方が
いなくても、お寺がご供養させて頂くお墓です。

大智寺の永代供養墓は、ご夫婦・ご家族一緒に
ひとつのお墓にお眠りいただけるタイプです。
永代にわたり、他の方のお骨と混じらないことから
「完全個別永代供養墓」といいます。
詳しくは、ご見学を含めてご説明しますので、
ご予約の上 ご来山ください。